



指扇中だより



緑豊の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX048(624)2479

『緑の街に舞い降りて』

校長 おお こうち のり かず
大河内 範一



新型コロナウイルス感染拡大の影響で長期の休校が強いられている。学校は従来の教育活動を行うことができず歯がゆい思いをしているところではあるが、西区新参者である私は、この与えられた期間をプラスと捉え、西区内を巡回し自分の見聞を広めることにした。

まず西区役所に行くと『西区ガイドマップ』や『にしなび』がすぐに手に入り、これを参考にしながら、訪れる方面を決めて自転車で移動している。手始めに学校周辺を回ってみたが、新しく美しい色合いの家々が立ち並び、メルヘンチックな童話の世界のようになっていることに驚かされた。また、移動の道中では芝桜や菜の花などの花々がいたるところで咲いており、きれいな街並みと調和していて実に優雅な空間に見えた。

観光名所にも目を向けてみた。荘厳で美しい佇まいの「清河寺」、四季折々の花が鑑賞できる「大宮花の丘農林公苑」、アジサイが咲き誇るのが楽しみな「法光寺」、移動途中で牛たちにも歓迎された「秋葉神社」などなど、どこもかしこも再び訪れたい場所ばかりであった。途中、美味しそうな飲食店などの誘惑もあったが、自粛の時期が終わった勤務時間外に、改めて訪れてみたいと思う。

西区、そして指扇中周辺は、数多くの文化財や花々の名所が満載の魅力たっぷりのエリアであった。この地で勤務し教育活動を行っていくことになり楽しみでならない。生徒たちが来る前にどんな準備をして待っていようか、そして、学校が再開したらどんな声掛けをしていこうかなどと、ワクワクしながら考え、策を練っているところである。

『冬来たりなば 春遠からじ』という諺がある。「つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来る」というたとえである。今は自由なことができず本当に苦しい時期ではあるが、緑豊かなこの素敵な街で、もう少しの間、辛抱して過ごしていこう。そして、学校が再開した時には、仲間たちと共に思う存分活動しよう。

【追伸】

指扇中のホームページで、「校長日記」を連日更新しています。上記の見聞録も含め、日常の出来事や学校の様子を発信していますので、ぜひご一読ください。

また、ご意見・ご感想、耳より情報などをお待ちしております。

